

REPORT 2017.9

上半期の経営状況のご報告



JAバンク福井県信連

当会の概要

当会は、福井県を事業区域として、地元のＪＡ等が会員となり、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に努めている地域金融機関です。

その資金は、県内のＪＡにお預けいただいた組合員・地域住民の皆さまの大切な財産である貯金を主な源泉としております。また、資金を必要とする組合員の皆さまや、農業に関連する企業・団体、県内の地場企業や団体、地方公共団体などにご利用いただいております。

当会は、福井県ＪＡバンク中期戦略基本目標である「ＪＡバンク自己改革の完遂」と「個人貯金8,000億円達成」に向け、「ＪＡを利用するメリット」を皆さまが今以上に実感いただけるような事業展開を目指し、サービスの向上に取り組んでおります。

プロフィール

(平成 29 年 9 月 30 日現在)

名 称	福井県信用農業協同組合連合会（ＪＡバンク福井県信連）
根 拠 法	農業協同組合法
設 立 年 月 日	昭和23年9月30日
純 資 産 額	566億円
総 資 産 額	8,214億円
自 己 資 本 比 率	17.79%
従 業 員 数	76人
事 業 所	本所 1 店舗



経 営 理 念

ＪＡバンク福井県信連は、協同組合精神のもと、信用事業を通じて、農業の振興と地域社会の発展に貢献します。

経 営 方 針

- ・ 収益基盤を拡充する
- ・ 統合的リスク管理態勢を確立する
- ・ 会員に対する指導力・相談力を強化する
- ・ 専門性、マネジメント能力を備えた人材を育成する
- ・ 機能集約による業務効率化を進める

中 期 経 営 計 画

当会では上記「経営理念」「経営方針」のもと、収益還元はもとより、従来以上の機能還元、より一層のスピード感を持って取り組むことが重要であると考え、平成28年度を初年度とする３カ年計画を策定し実践しております。

役職員の人材開発の強化を進めつつ、経営の安定確保に向けた経営管理態勢の充実や財務内容の強化などを行い、事業方針に掲げる３つのテーマを優先的・重点的に、役職員一丸となり取り組んでまいります。

<事業方針>

- ・ 自己改革の実践
- ・ 福井県ＪＡバンク中期戦略の実践
- ・ 重点課題への継続的な取り組み実践



地域に密着した、より一層必要とされる金融機関としての活動を継続しながら、福井県ＪＡバンクの総力を結集し、組合員・利用者保護の徹底と満足度向上を目指してまいります。

平成29年度上半期の主な取組み

自己改革の取組み

当会は、JAバンク自己改革3本の柱である「農業所得増大と地域活性化」「信用事業運営の合理化・効率化」「地域貢献への取組み」を着実に進めるため、各関係機関と連携しながら、地域・農業に密着し、より一層必要とされる福井県JAバンクの実現に向け全力で取り組んでおります。

■ 「ふくい農業応援プログラム」の展開

組合員トータルサポートセンターでは、平成28年度から3年間の取組みとして、「福井県JAグループ『ふくい農業応援プログラム』」を展開しております。当プログラムでは、事業総額約28億円の規模にて、生産基盤維持拡大等に向けた12の取組みを行っております。

その中の販路拡大支援事業として、平成29年10月には「福井県地産地消商談会」の開催により、魅力ある農産物づくりに取り組んでいる農業経営者の方々や、地元産品を活用した多様なこだわり食品を取り扱う食品メーカー・飲食店の方々に、広域的な販路拡大の機会を提供してまいります。

■ 「ふくい担い手応援フェア」の開催

本年11月には、本県農業の担い手となる農業生産者や農業法人の方々を対象に「ふくい担い手応援フェア」を開催し、農業関連研修（優良事例紹介）および農業機械の最新技術やコスト低減資材等の紹介を行うほか、当会も農業融資相談ブースを設け様々なご提案を行ってまいります。



■ 「北信越商談会」の開催

6次化に取り組む農業法人の販路開拓支援のため、毎年冬に「JA・JFグループ 北信越商談会」を開催し、ビジネスマッチングの機会を提供しております。

平成30年1月開催の商談会には、北信越5県からセラーとして農業法人等25団体・漁業協同組合等3団体が参加を予定しております。バイヤー様・セラー様双方のご希望をお伺いした事前マッチング方式を採用していることから、「成約につながりやすい商談会」としてご好評をいただいております。



■ 農業応援資金の企画・販売

農業者の多様な資金ニーズに応えるため、福井県ＪＡバンクオリジナル農業資金「地域農業応援資金」を発売しております。

福井県ＪＡバンクでは、農業者を金融面からサポートすべく、貸出金利を統一（当初３年間0.2%固定）するとともに、保証料の全額助成をいたしております。

なお、保証料助成については、「地域農業応援資金」に加え「農業近代化資金」も対象としております。



新規就農応援事業として、新規就農者や新規就農研修実施農家に対し、「（一社）ＪＡバンクアグリ・エコサポート基金」を活用した助成を行っております。

また、農業法人の財務基盤を強化し、その健全な成長と発展を図るために、「アグリシードファンド」をはじめとした各種ファンドのご提案を行っております。



■ 農業応援金融商品の企画・販売

消費者・生産者を問わず高い関心を集めている新ブランド米「いちほまれ」を多くの方々にご賞味いただき、ブランドイメージの普及、地域農業の活性化・地方創生に貢献することを目指し、「いちほまれ誕生記念定期貯金」をサマーキャンペーン商品として発売しました。



■ 農業と地域利用者をつなぐ取組み

お客さまの満足度向上はもちろん、直売所やファーマーズマーケットの売上の増加と、生産者の所得向上を目指す取組みとして、直売所※でＪＡカードをご利用いただいたお客さまに対し、利用代金の５％をご請求時に割引く取組みを実施しております。

※ 対象となる直売所等は福井県ＪＡバンクのＨＰにて確認下さい。



地域貢献情報

当会は地域密着型金融機関として、地域経済の持続的発展に取り組んでおります。また、資金供給や経営支援などの金融サービスの提供にとどまらず、環境・文化・教育の側面からも、地域社会の活性化に貢献できるよう積極的な活動を行っております。

■ 金融円滑化への取り組み

当会では、農業協同組合を基盤とする協同組織金融機関として、「農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、金融機関として最も重要な役割の一つであると認識し、その適切な業務の遂行に取り組んでおります。

金融円滑化にかかる基本的方針を制定のうえ、相談受付体制を整備し、他の取引金融機関とも連携して、新規のご融資・お借入条件の変更等のお申込みには可能な限り柔軟に対応いたしております。また、お客さまの経営相談に対して真摯に対応し、経営改善に向け積極的な助言・支援等を行っております。

(単位：件)

債務者の区分	H29. 9月末	H29. 3月末	H28. 9月末
中小企業者である場合	72	68	64
住宅資金借入者である場合	1	1	1

■ 「経営者保証に関するガイドライン」への対応方針

当会では、経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会および日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備しております。

個人のお客さまと保証契約を締結する場合、また、既に保証人となっている個人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めております。

■ 各種相談会の開催

「年金相談会」では、当会委託の社会保険労務士が、年金受給者やこれから受給対象となる方々の種々の疑問にお答えしながら、各種年金へのご理解を深めていただいております。

また、県内の各JAにて開催している、「JA住宅ローン相談会」では、住宅新築予定者やリフォーム予定者の方々からたくさんのご相談をいただいております。

さらに、相続税・贈与税相談等についても、当会顧問税理士により対応いたしております。

■ JAバンクアグリサポート事業

当会は、地域密着型金融機関として、社会への貢献、農業に対する地域の理解と振興、農業ファン作りを目指した「JAバンクアグリサポート事業」を展開しています。

本年度は、食農教育実践活動として、県内在住の中学生を対象に、「中学生アグリクイズ選手権」を開催しました。

子供たちは、勝ち抜きクイズのほか、生産農家での収穫体験やJA直売所巡りなどを通して、楽しみながら食やお金への理解を深めていきました。



第1回 中学生 アグリクイズ選手権

■ 各種イベントの開催・協賛

地域活性化やスポーツ・文化の深耕を目指し、「JAバンク『家族を描こう』コンクール」の開催、「JAバンク杯 中学校軟式野球選手権大会」や「YOSAKOI イッチョライ」への特別協賛など、様々な活動を行っております。



大賞 やまさき かなちゃん作品

第31回「家族を描こう」コンクール



YOSAKOI イッチョライ



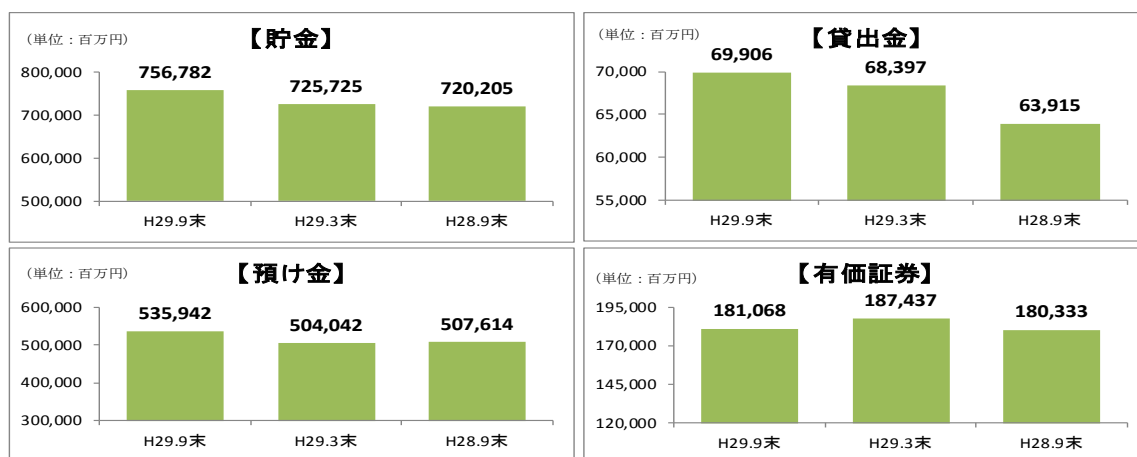
JAバンク杯 第9回中学校軟式野球選手権大会

平成29年度上半期の業績等

主要勘定の状況

(単位：百万円)

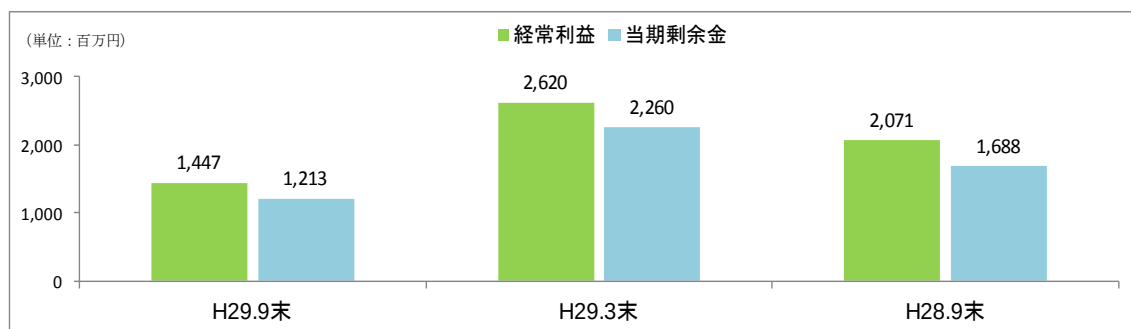
	平成29年9月末	平成29年3月末	平成28年9月末
貯金	756,782	725,725	720,205
貸出金	69,906	68,397	63,915
預け金	535,942	504,042	507,614
有価証券	181,068	187,437	180,333



損益の状況

(単位：百万円)

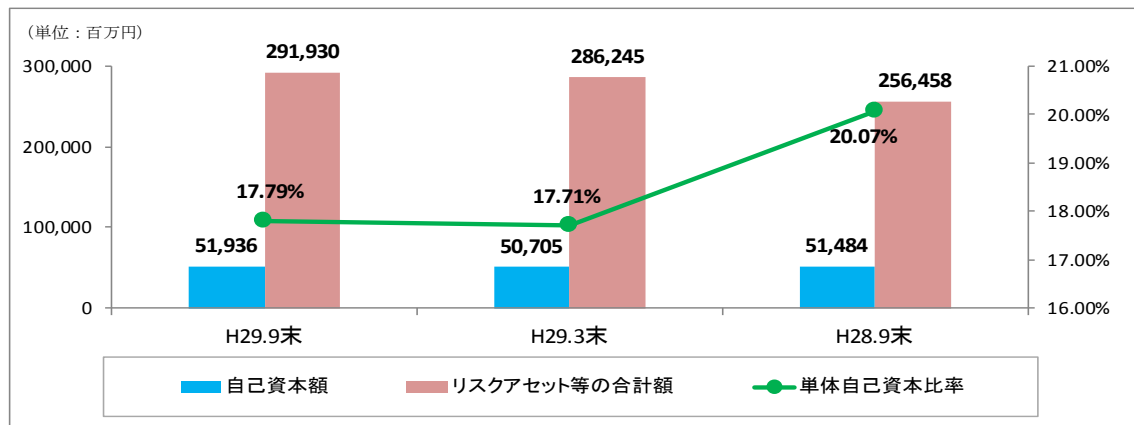
	平成29年9月末	平成29年3月末	平成28年9月末
経常利益	1,447	2,620	2,071
当期剰余金	1,213	2,260	1,688



単体自己資本比率

(単位：百万円)

	平成29年9月末	平成29年3月末	平成28年9月末
自己資本の額	51,936	50,705	51,484
リスク・アセット等の合計額	291,930	286,245	256,458
自己資本比率(%)	17.79	17.71	20.07



リスク管理債権

(単位：百万円)

債権区分	平成29年9月末	平成29年3月末	平成28年9月末
破綻先債権額	30	30	86
延滞債権額	277	286	301
3カ月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—
合計	307	316	387

(注) 1 破綻先債権

元本または利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本または利息の取立てまたは弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金をいいます。

2 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金をいいます。

3 3カ月以上延滞債権

元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で、破綻先債権および延滞債権に該当しないものをいいます。

4 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権および3カ月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

金融再生法開示債権区分に基づく保全状況

平成29年9月末

(単位：百万円)

債権区分	債権額	保 全 額			
		担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	157	66	3	88	157
危険債権	204	25	27	150	204
要管理債権	—	—	—	—	—
小計 (A)	361	92	30	239	361
正常債権	69,935				
合計 (B)	70,297				
不良債権比率 (A/B)	0.51%				

平成29年3月末

(単位：百万円)

債権区分	債権額	保 全 額			
		担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	162	70	3	88	162
危険債権	154	—	28	126	154
要管理債権	—	—	—	—	—
小計 (A)	316	70	31	215	316
正常債権	68,428				
合計 (B)	68,744				
不良債権比率 (A/B)	0.46%				

平成28年9月末

(単位：百万円)

債権区分	債権額	保 全 額			
		担保	保証	引当	合計
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	223	85	3	131	223
危険債権	164	7	28	131	164
要管理債権	—	—	—	—	—
小計 (A)	387	92	31	262	387
正常債権	63,892				
合計 (B)	64,280				
不良債権比率 (A/B)	0.60%				

(注) 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態および経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。

なお、当会は同法の対象とはなっていませんが、参考として同法の定める基準に従い債権額を掲載しております。

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。
- 危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
- 要管理債権
3カ月以上延滞債権で上記1および2に該当しないものおよび貸出条件緩和債権をいいます。
- 正常債権
債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

有価証券の時価情報

平成29年9月末		(単位：百万円)	
区 分	取 得 価 額	時 価	差 額
売 買 目 的	—	—	—
満 期 保 有	5 0 0	4 8 1	△ 1 8
そ の 他	1 7 1 , 9 1 3	1 8 0 , 5 6 8	8 , 6 5 4
合 計	1 7 2 , 4 1 3	1 8 1 , 0 4 9	8 , 6 3 6

平成29年3月末		(単位：百万円)	
区 分	取 得 価 額	時 価	差 額
売 買 目 的	—	—	—
満 期 保 有	4 9 9	4 9 9	0
そ の 他	1 7 8 , 2 5 0	1 8 6 , 9 3 7	8 , 6 8 7
合 計	1 7 8 , 7 5 0	1 8 7 , 4 3 7	8 , 6 8 7

平成28年9月末		(単位：百万円)	
区 分	取 得 価 額	時 価	差 額
売 買 目 的	—	—	—
満 期 保 有	4 9 9	4 9 9	0
そ の 他	1 6 8 , 9 3 9	1 7 9 , 8 3 3	1 0 , 8 9 3
合 計	1 6 9 , 4 3 9	1 8 0 , 3 3 3	1 0 , 8 9 3

(注) 有価証券の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。

取得価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価適用後の帳簿価額を記載しております。

編集 福井県信用農業協同組合連合会
管理部 企画管理課

〒910-8666
福井市大手3丁目2番18号
TEL (0776) 27-8232
<http://www.ja-bank-fukui.or.jp/tokai/>

